

社会資本総合整備計画

平成26年12月17日

計画の名称	朝霞市特別緑地保全地区整備計画			
計画の期間	平成27年度（1年間）	交付対象	朝霞市	
計画の目標				

・岡特別緑地保全地区は、関東地方の屋敷林に多いケヤキ-シラカシ群集、植林されたスギ、モウソウチク林などが広がる雑木林で、緑地斜面下部には、2箇所の豊富な湧水が存在し、地域の貴重な涵養林となっている。市では、この自然を将来にわたり保全するため、平成18年8月に特別緑地保全地区に指定した。現在、市民ボランティアとともに里山再生を目指し、保全を進めている。この岡特別緑地保全地区と隣接する民有地の境界に擁壁を整備することで土砂崩壊を防止する。また、地区内の池周辺に立入防止柵を整備することにより池への進入を防止する。

計画の成果目標（定量的指標）

・岡特別緑地保全地区と隣接する民有地との境界に擁壁、池周辺に立入防止柵を整備する。

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考
	当初現況値 H27当初		最終目標値 H27年度末	
・擁壁・立入防止柵整備工事の進捗率	0%	—	100%	

全体事業費	合計 (A+B+C)	10百万円	A	10百万円	B	0百万円	C	0百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.0%
-------	---------------	-------	---	-------	---	------	---	------	---------------------------	------

交付対象事業

A1 基幹事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H27	H28	H29	H30	H31		
1-A-1	公園	一般	朝霞市	直接	朝霞市	緑地推進事業	擁壁整備工事(延長25.0m)	朝霞市						8	
1-A-1	公園	一般	朝霞市	直接	朝霞市	緑地推進事業	立入防止柵整備工事(延長52.5m)	朝霞市						2	
合計													10		

B 関連社会資本整備事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H27	H28	H29	H30	H31		
合計															

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
----	----------------------	----

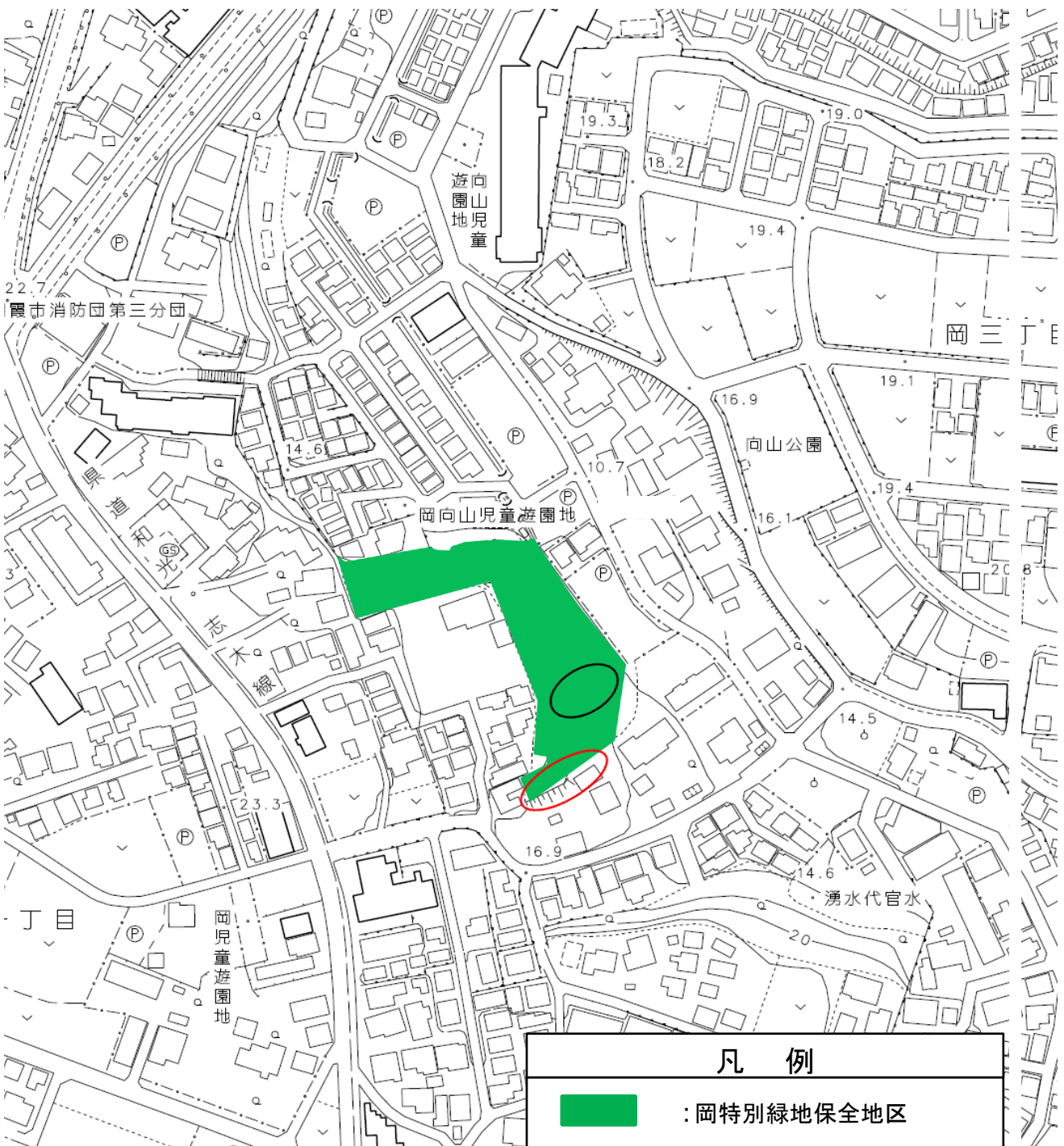
C 効果促進事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H27	H28	H29	H30	H31		
合計															




番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
----	----------------------	----

(参考様式)

計画の名称	朝霞市特別緑地保全地区整備計画	
計画の期間	平成27年度(1年間)	交付対象 朝霞市

岡特別緑地保全地区位置



凡 例	
	: 岡特別緑地保全地区
	: 擁壁整備範囲
	: 立入防止柵整備範囲

社会資本整備総合交付金チェックシート

計画の名称：朝霞市特別緑地保全地区整備計画

事業主体名：朝霞市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
① 上位計画等との整合性	○
② 地域の課題への対応（地域の課題と整備計画の目標の整合性）	○
II. 計画の効果・効率性	
① 整備計画の目標と定量的指標の整合性	○
② 定量的指標の明瞭性	○
③ 目標と事業内容の整合性	○
④ 事業の効果（要素事業の相乗効果等）の見込みの妥当性	○
III. 計画の実現可能性	
① 円滑な事業執行の環境（事業熟度、住民等の合意形成等を踏まえた事業実施の確実性）	○
② 地元の機運（住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発言の確実性）	○